

事務事業評価シート

(H.28)No.	4153	(H.27)No.	4153
-----------	------	-----------	------

事務事業名	県営農道保全対策事業(伊賀地区)		
担当部局名	担当室名	室長名	
産業部	農林資源室	吉岡 昌行	

会計区分	事業コード	327001
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 農林水産業費	県営農道保全対策事業	
項 農業費	(小事業名)	
目 農業基盤整備費	県営農道保全対策事業(伊賀地区)	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	2 美しい自然に包まれた、憩いと潤いのある暮らし
	基本施策	3 新しい名張農業の振興と農山村の整備
	施策	1 農村環境整備
	小施策	5 計画的な集落環境整備
	重点施策コード	

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
初期に建設された広域農道においては、経年変化による路面の劣化が激しく、本来機能してきた効果が十分発揮できていない状況であるため、対応を行う。
事業内容
事業主体 三重県 事業費736,000千円(伊賀地域全体) 広域農道(伊賀コリドールロード) 保全工事:1式 負担割合 国:50% 県:35% 市15%

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.27年度(事業量・取組実績)	H.28年度(事業量・取組計画)	H.29年度(事業計画)	H.30年度(事業計画)	H.31年度(事業計画)
主な事業の実績・計画	広域農道保全工事:1式 北部中央線 L=800m 事業費 全体 27,296千円 名張市分 4,094千円 内、H26繰越分 4,094千円	広域農道保全工事:1式 滝之原工区 法面整備 事業費 全体 50,000千円 名張市分 7,500千円	<事業内容> 広域農道保全工事:1式	平成29年度 事業完了予定	

	H.27年度(決算見込)	H.28年度(作成時予算額)	H.29年度(計画予算)	H.30年度(計画予算)	H.31年度(計画予算)
①直接事業費	(4,094千円)	7,500千円	7,500千円		
内訳(千円)					
国・県支出金					
地方債	(4,000千円)	7,500	7,500		
その他()					
一般財源	(94)	0	0	0	0
人工数					
職員	(0.18人)	0.05人	0.05人		
臨時職員等	(0.01人)	0.01人	0.01人		
②概算人件費	(1,385千円) 0千円	397千円	397千円	0千円	0千円
①+②総事業費	(5,479千円) 0千円	7,897千円	7,897千円	0千円	0千円

4. 担当室による事務事業の点検 (*点検等による成果向上や見直しが困難な事業(法令等による義務的経費、災害復旧等緊急事業など)は点検対象外)

考察(H.27年度の取組評価、課題)	今後の対応方針(課題解決への取組、工夫・改善の内容)
広域農道の移管に伴い、老朽化した路面改修等を実施した。	早期に老朽化した路面(主に市道北部中央線)の改修及び付帯構造物の改修を行い、本来の機能を十分に発揮できるよう努める。また、滝之原地内の法面整備を早急に行い、通行の安全確保に努める。

点検項目	内容(施策達成への貢献内容、連携・協働の実践・検討内容)
(1) 事業内容や取組成果は、総合計画の施策達成に貢献しているか B(いずれかの施策指標達成に貢献又は基本方針達成に貢献)	老朽化した農道の改修を行うことにより、農村環境整備の推進や、地域営農の効率化に貢献できる。
(2) 地域づくり組織、市民活動団体等との連携・協働は図れないか 該当しない	

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	継続(現行)
具体的な見直し内容・検討内容、継続の理由	6. 事務事業の取組に関係する主な市の計画
計画に基づいて各年度ごとに改修・整備を行っていく。市道への移管箇所も含め、本来の機能を発揮させるため、計画どおり実施していくことが必要である。	